



# SEO TREND REPORT

2018年1月号



SEO&Web最新ニュース



知ってる？SEOの豆知識



プロモニスタ MAGAZINE



未来の検索ニーズを先取り！

#### REPORT STORY

SEOのトレンドに関する独自の分析・情報発信をとおして、皆さんのサイトの発展や改善に貢献することを目的とした冊子です。業務に転用できるヒントを得ていただければ幸いです。毎月月末に配布しますのでご活用ください。

# SEO Trend Report

—  
SEO & Web  
最新ニュース

—  
01  
—

<<月間ダイジェスト>> SEOを中心に12月に話題になったニュースのまとめをご紹介します！

12月5日 (火)

【米Google】 3つの新機能追加を発表

「注目スニペット」、「ナレッジパネル」、「特定トピック検索」の3つに新機能を追加したことを発表。（※日本は未対応）

12月6日 (水)



【Google】 医療や健康に関連する日本独自の検索結果の改善

検索のおよそ60%に影響する医療・健康関連の日本独自の大幅改善を発表。

12月6日 (水)

【Yahoo!】 Yahoo! 検索大賞2017発表

2017年に前年と比べ検索数が最も急上昇した人物、作品、製品などを発表・表彰する「Yahoo!検索大賞2017」を発表。

12月13日 (水)

【Google】 2017年 Google 検索ランキング

急上昇ランキング、とは検索、比較検索、話題の人、世界が検索したJapanとTokyoの、2017年Google検索ランキングを発表。

12月13日 (水)



【Google】 SEOスターターガイドを大幅改訂

2010年9月の更新から約7年の歳月を経て、検索エンジンと相性の良いWebサイト作成に役立つマニュアルを大幅に改訂。

12月18日 (月)

【Yahoo!他】 検索サービス事業者7社が自殺予防に向けた連携強化

2011年に発足した「検索サービスの健全な発展に関する研究会（検索サービス関連事業者と複数省庁が参加）」が、自殺予防に向けた連携を強化することを発表。

12月19日 (火)



【Google】 モバイルファーストインデックス導入に向けて

モバイルファーストインデックスの導入に向けてサイトを確実に準備できるよう、現状といくつかのヒントを紹介。



日本のGoogleが「医療や健康に関連する検索結果の改善」を実行したことを発表しました。例の某サイト問題を発端とした日本独自のアルゴリズム更新です。2017年2月にも日本独自の品質アップデートを行いました。これよりも大きな順位変動を観測しています。

 影響範囲は、医療・健康に関連する検索のおよそ60%！

今回のアップデートは、医療や健康に関する検索結果の改善を意図したもので、例えば医療従事者や専門家、医療機関等から提供されるような、より信頼性が高く有益な情報が上位に表示されやすくなります。逆に、根拠が薄い低品質コンテンツの順位が下がります。

 医療系以外でもコンテンツ作成に役立つGoogleからのアドバイスは？

“もし、あなたが医療関係者で、一般のユーザーに向けたウェブでの情報発信に携わる機会がありましたら、コンテンツを作る際に、ぜひ、このような一般ユーザーの検索クエリや訪問も考慮に入れてください。

ページ内に専門用語が多用されていたら、一般ユーザーが検索でページを見つけることは難しくなるでしょう。内容も分かりづらいかもかもしれません。”

Googleはウェブマスター向け公式ブログで複数回、品質改善の取り組みについて言及しています。コンテンツの品質改善は継続的に取り組んでいますので、これを機にこれまでの発表を振り返ってみてはいかがでしょうか。

2017年2月3日	日本語検索の品質向上に向けて
2017年4月26日	Google検索における最新の品質向上について
2017年6月5日	ユーザーに役立つ検索スニペット
2017年10月19日	より良質のコンテンツをユーザーに
2017年12月6日	医療や健康に関連する検索結果の改善について

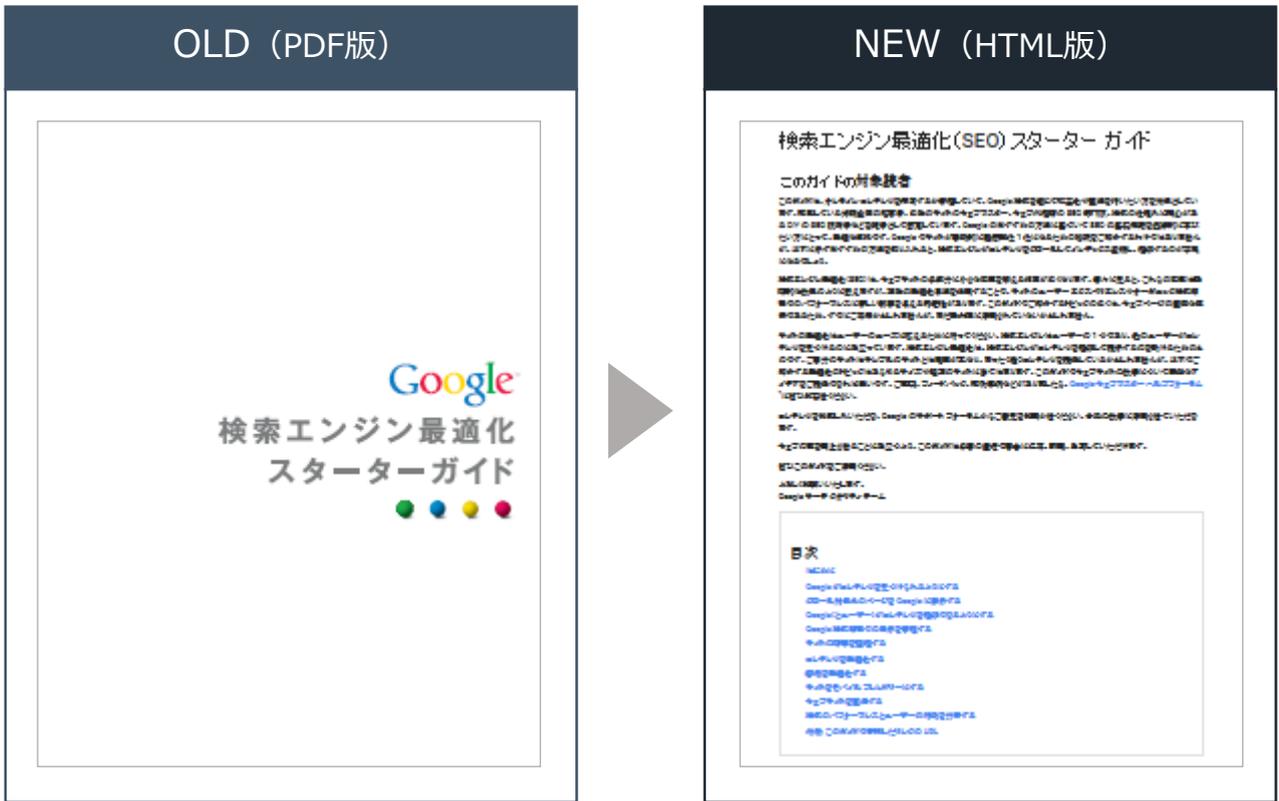
引用元「Google ウェブマスター向け公式ブログ」

<https://webmaster-ja.googleblog.com/2017/12/for-more-reliable-health-search.html>

 Googleが公式公開している、検索エンジン最適化（SEO）の本質的なポイントを紹介するガイドラインが改訂されました。

2009年6月に日本語版がリリース、2010年9月の更新を経て約7年ぶりのリニューアルです。7年たっても色あせない普遍的な内容になりますので、ぜひぜひ一読ください。

 PDF版からHTML版に変わりました！



 最新版に更新されたものの、大幅には変わっていません！

不変であるガイドラインのため基本内容は大幅に変わっていません。「モバイル対応がスマートフォンに変更」「構造化データのマークアップが追加」「httpsを推奨」などが旧版との違いです。

基礎的な内容になるため、SEOに精通している方にとっては新たな発見はないと思いますが、知識の再確認としても大いに役立つ内容です。

これから学ぶ方、上級者の方、旧版を読んだことがある人など問わず、Webサイトに携わるすべての方に読んでいただきたいと思います。

引用元「検索エンジン最適化（SEO）スターターガイド」  
<https://support.google.com/webmasters/answer/7451184?hl=ja>



約1年前の2016年11月5日のウェブマスター向け公式ブログで正式アナウンスされた「モバイルファースト インデックス」について、現状といくつかのヒントが紹介されました。

目新しい情報はありませんが、準備に向けて改めて喚起していますので確認しましょう！

## ✓ 発表から約1年、なぜ導入完了するのにここまで時間がかかっているのか？

PCとスマートフォンを別々のサイトで運用しているサイトの多くが、PCとスマートフォンでコンテンツの内容に大幅な差異があるようです。このまま全サイトを対象に導入をしてしまうと、現状の検索結果と大幅に変わってしまいます。検索ユーザーの利便性に影響がでることから、スムーズな導入ができない状態になっています。

## ✓ サイト準備のヒント7つを公開！

1. モバイルサイトにも高品質で重要なコンテンツを揃えます
2. テキスト、画像（alt 属性を設定）、動画などをインデックス可能な形式で準備します
3. モバイル版とデスクトップ版の両方のサイトに構造化データを追加します
4. titleやdescriptionなどの各種meta情報はしっかりモバイル版にも記載します
5. モバイル版とデスクトップ版をリンクするためのアノテーション設定を記載します
6. 別言語で運用するサイトは、多言語展開を示す言語アノテーションも実装します
7. モバイルサイトをPCと別のサーバーでホストしている場合、スマホ版クローラの増加に耐えられる容量を確保します

## ✓ 一部のサイトには本番導入していますが、全サイトの導入が完了する時期は未定です！

10月のSMX EastカンファレンスでGoogleのゲイリー・イリエーシュ氏が発言していたとおり、準備が整っているサイトから本番導入されています。今後も準備が整ったサイトから移行するようですが、何をもちて対応完了と判断しているのかは不明です。じっくり、時間をかけて完了を目指すようなので、ヒントを参考にできる箇所の対応を実行しましょう！

引用元「Google ウェブマスター向け公式ブログ」

<https://webmaster-japan.googleblog.com/2017/12/getting-your-site-ready-for-mobile.html>

# SEO Trend Report

—  
知ってる？  
SEOの豆知識

—  
02  
—

2017年、SEO業界でどのような変化があったのか、特に多くの関心を集めたトピックスに絞って振り返ります。

2月3日 	日本語検索独自の品質向上におけるアップデートを実施
3月9日 	朝日新聞が1面と2面で信頼性に関するSEOの記事を掲載
3月22日 	レシピ、映画、飲食店限定でカルーセル形式のリッチカードを導入
3月27日 	世界最大規模のディレクトリサービス、Dmozが終了
6月29日 	1996年4月1日に開始されたYahoo!カテゴリが2018年3月29日に閉鎖することを発表
10月30日 	ユーザーの場所に応じて今いる国の検索結果を返す仕様に変更
11月某日 	3月7日に導入を予告していたAMPのサポートを開始
11月某日 	モバイルファーストインデックスが一部のサイトで導入開始
12月6日 	医療や健康に関連する検索結果のアップデートを実施
12月13日 	SEOスターターガイドを、2010年9月の更新から約7年ぶりにリニューアル

重要なポイントを3つに絞ると、

「モバイル・コンテンツ・ユーザー体験」が引き続き潮流になると読みます。

## 1 モバイルフレンドリーからモバイルファーストへ

モバイルフレンドリーからモバイルファーストへと情勢が変わっている今、2018年は本格的にスマートフォンが主導権を握ります。一部で導入が始まっているモバイルファーストインデックスは、2018年にはいよいよ導入が拡大します。

閲覧領域が限られるモバイルデバイスは、コンテンツの在り方や伝達方法などのSEOとユーザービリティ観点の創意工夫が欠かせません。

Googleはレスポンシブを推奨していますが、サイトの特性に応じて実装方法を選択しましょう。

## 2 加速する信用コンテンツ

Googleは、2017年も品質改善を多く実行しました。

その多くは、検索品質評価ガイドラインに書かれている「専門性」「権威性」「信頼性」を追い求めている継続的な取り組みです、透明性を確保する動きです。

SEOを起点として検索エンジンを追うのではなく、ユーザーの真意を追い求めるコンテンツが成果を生み出します。この発想は、2018年も変わることはないでしょう。

## 3 ユーザー体験最適化

SERPから負担のないアクセス環境（表示速度、AMP、SSL化など）の整備。

そして、ユーザーの期待に応える利便性が高い“おもてなし”の気持ちにあふれたサイト設計が求められると思います。検索エンジンに特化した施策ではなく、検索ユーザーに対し検索体験の最適化を施すアプローチです。

興味関心訴求・レイアウト設計・利便性と機能性・導線設計などの施策がサイトのパフォーマンスを高め、ユーザーと検索エンジンからの評価が高まる一助になるはずです。

### さらにその先は・・・音声検索が主流！？

スマートフォン時代の今、料理をしながら検索など、手が使えなくても作業ができる利便性が求められています。今後は、検索エンジンのみならず、デジタルサービス全般において音声や視線による新たな検索スタイルが増えると予測されています。（参考：Gartner Symposium/ITxpo 2017より）

2018年に対応するにはまだ早いと思いますが、情報はキャッチアップしておきましょう！

SEO Trend Report

—  
プロモニスタ  
MAGAZINE

—  
03  
—



12月7日（木）記事公開



医療・健康に関連する検索アルゴリズムのアップデート速報！影響を受けたキーワード、サイトとは／SEOニュース12月号①

<https://promonista.com/news-171207/>

12月21日（木）記事公開



手動ペナルティの対象になる？構造化データの誤使用に注意！／SEOニュース12月号②

<https://promonista.com/news-1221/>

【予告】1月8日（月）NEW記事公開

No image

新春特別コンテンツを1月8日（月）に公開予定！

プロモニスタとは？

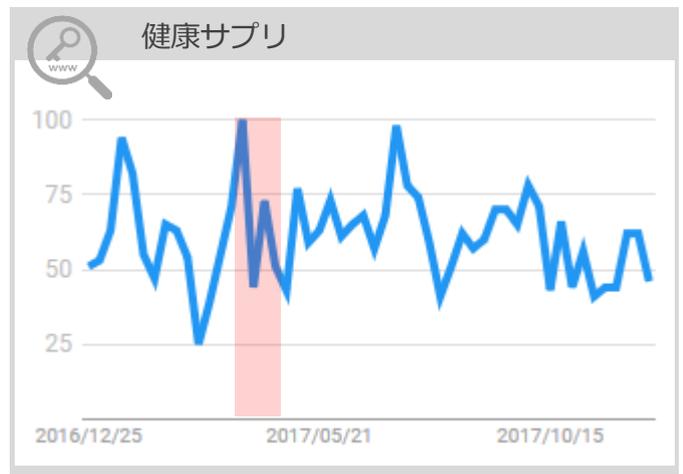
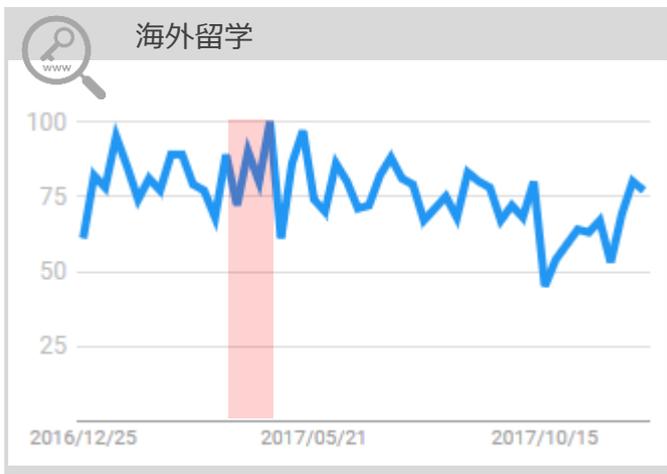
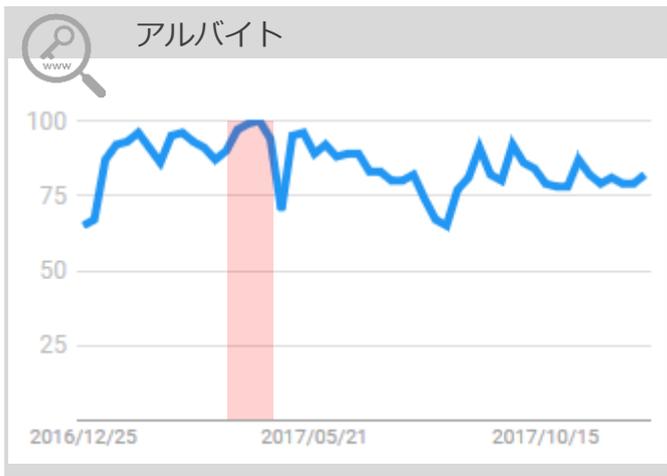
機械学習やAIの導入で日々変化を遂げている現在、ターゲットユーザーへのリーチ方法やコミュニケーション手段など、マーケティングの重心が変わってきています。プロモニスタはコンテンツマーケティングやSEOを通じて、事業やマーケティング変革の支援をするために情報発信するウィルゲートのメディアサイトです。

# SEO Trend Report

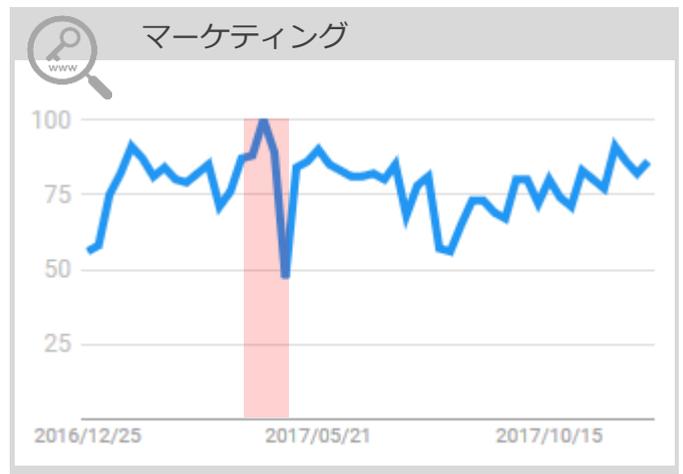
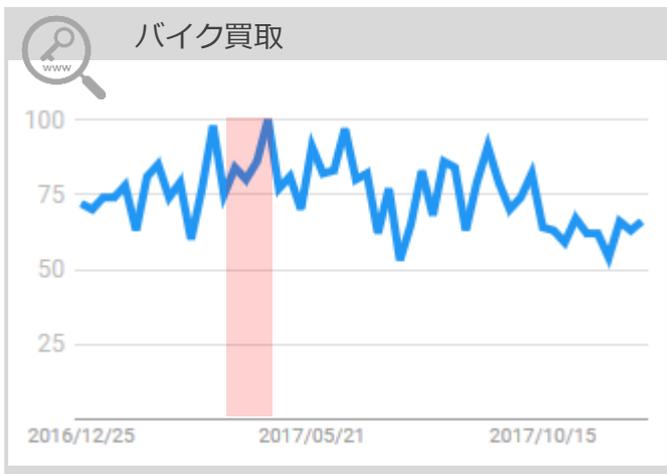
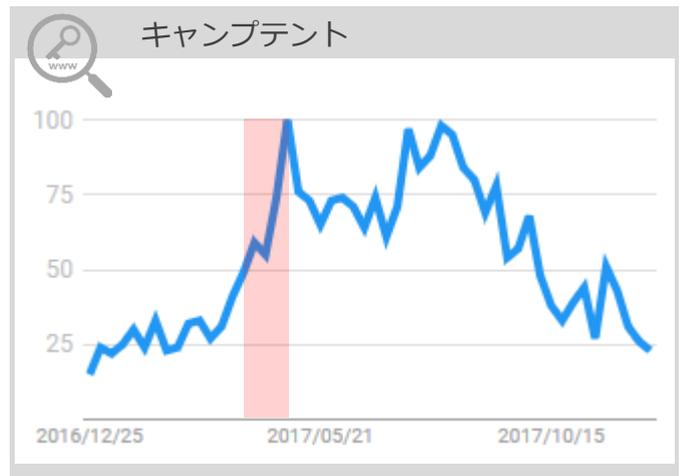
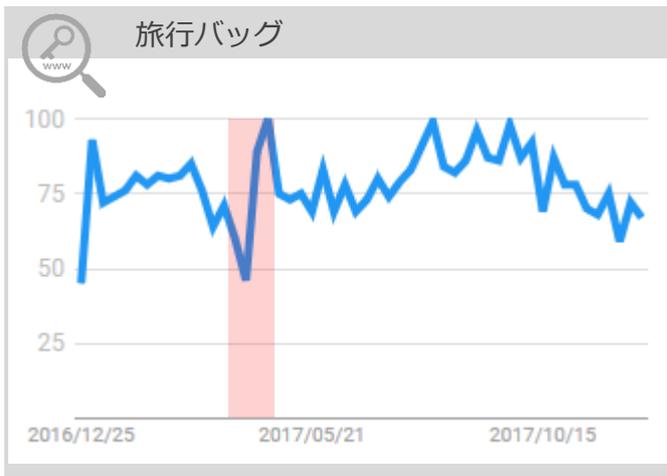
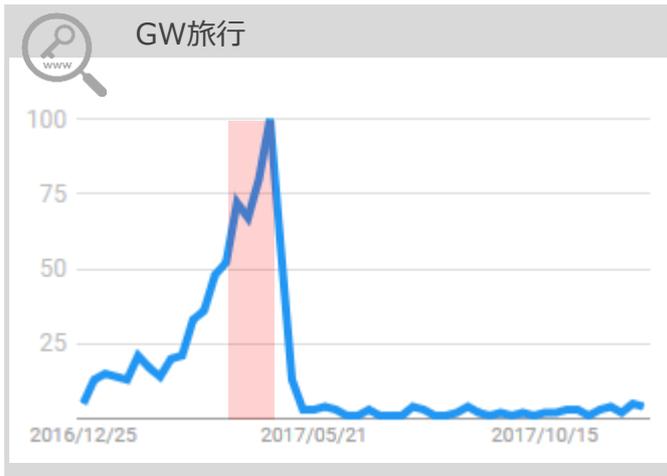
—  
未来の検索ニーズ  
を先取り！

—  
04  
—

Googleトレンドで、2017年4月に最も検索の人気度が高かったキーワードの一部を紹介します。1年前のトレンドになるので本年度も同じ結果になるとは限りませんが、検索が伸びる可能性が高いキーワードになりますので、事前準備にお役立てください。（※閲覧時期によって数値が異なる場合があります）



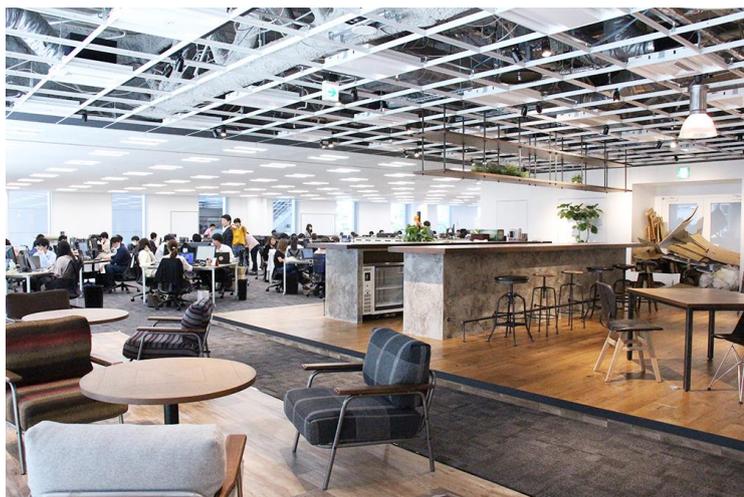
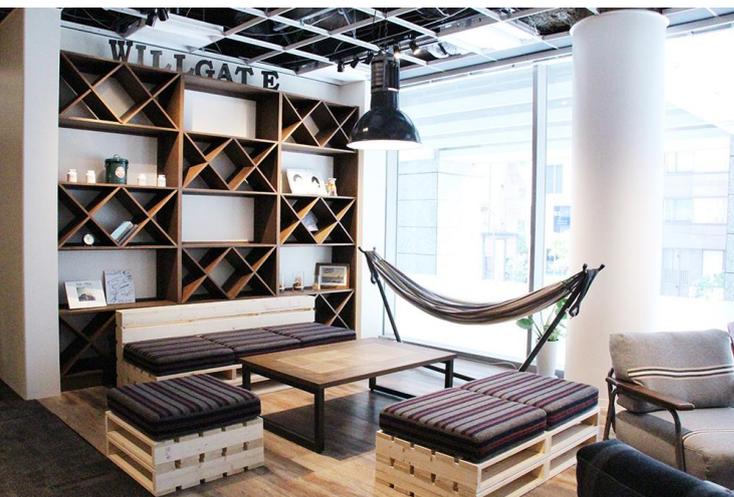
Googleトレンドで、2017年4月に最も検索の人気度が高かったキーワードの一部を紹介します。1年前のトレンドになるので本年度も同じ結果になるとは限りませんが、検索が伸びる可能性が高いキーワードになりますので、事前準備にお役立てください。（※閲覧時期によって数値が異なる場合があります）





**WILLGATE**

MAKE YOUR WILL COME TRUE



## SEO TREND REPORT

SEOトレンドレポート 2018年1月号 (2017年12月26日発行)

発行社 株式会社ウィルゲート  
編集長 深井 秀行

東京都渋谷区渋谷3-12-18 渋谷南東急ビル2F  
Tel : 03-6869-0631 (代表)  
Web : <https://www.willgate.co.jp/>

本書の一部または全部を無断で複製・転載・配布することは禁止しております